

部局名 フロンティア科学総合研究センター

担当: 越本 知大 教授

テーマ 絶滅が危惧されている日本固有の齧歯類「トゲネズミ属」の生息域外保全事業

取組の背景

トゲネズミ属 (*Tokudaia* spp.) は、世界中でも奄美大島・徳之島・沖縄島北部にしか生息しないネズミの仲間です。またアマミトゲネズミ (*T. osimensis*) とトクノシマトゲネズミ (*T. tokunoshimensis*) は、XO型の性染色体を持つ地球上でほぼ唯一の哺乳類として知られています。しかし彼らはいずれも絶滅に瀕しています。そこで我々は、環境省や日本動物園水族館協会等と共同でトゲネズミ属 (*Tokudaia* spp.) を生息地の外で飼育繁殖して保全する事業に取り組んでいます。



2019年に宮崎大学でも繁殖成功
(2019年4月24日撮影)



光周期や飼育温度を変化させて、
繁殖の兆候を観察しています

取組の成果および特色

特に宮崎市フェニックス自然動物園や埼玉こども動物園と共同での取り組みによって、これまでに不可能とされてきた人工繁殖に成功しており、生息域外個体群が確立しつつあります。また宮崎大学では周期や飼育環境温度、飼育面積など繁殖誘導の要因解明に取り組んでいます。トゲネズミ属の生息地域は、2021年に世界自然遺産登録が決定しました。我々が確立した技術は、世界自然遺産地域の生態系保全にも貢献することが期待できます。

参考URLなど

環境省報道発表資料:トゲネズミ類生息域外保全事業について <https://www.env.go.jp/press/103648.html>
 環境総合推進費;奄美・琉球における遺産価値の高い森林棲絶滅危惧種に対応する保全技術開発
https://www.erca.go.jp/suishinhi/seika/pdf/seika_2_05/4-1707.pdf